

サンプル

リフト図

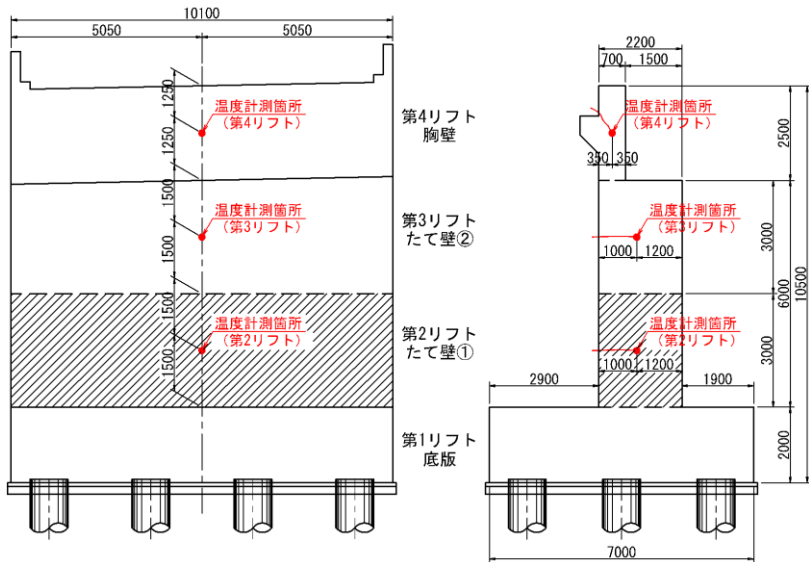
○基本情報

発注者(事務所名)	山口土木建築事務所		受注者	〇〇建設(株)	
路線・河川・地区等	山口宇部線		工期	H18.4.1	～ H19.3.31
工事名	道路改良工事			工区	1
施工場所	山口市〇〇	緯度	34度42分22秒	経度	136度55分42秒
構造物名	〇〇橋				
構造物詳細	A1橋台	リフト名	第2リフト		

打込みリフト図

正面図

側面図



リフト毎に記入

構造物の場所を緯度
経度で記入

○構造

構造物種類	橋台
構造形式	RC構造
打込み部位	たて壁

○寸法

厚さ	2.20 m
長さ(幅)	10.10 m

○配筋

主鉄筋	前面	D29 @125
	背面	D29 @125
配力筋	前面	D19 @125
	背面	D19 @125
設計純かぶり	4cm以上	

備考

鉄筋径・ピッチ
を選択または
記入

○ひび割れ抑制対策

補強鉄筋	タイプA
配筋状況(タイプA)	D19 @125
タイプA段数	1段
配筋状況(タイプB)	
誘発目地間隔	m
膨張材	kg/m ³
その他の対策	

1段、2段等
を記入

誘発目地を
設置した場
合は、その
間隔を記入

膨張材を使用した
場合に記入

○鉄筋比

鉄筋比(対策前)	0.11 %
鉄筋比(実施)	0.30 %

その他対策の具
体名を記入

サンプル

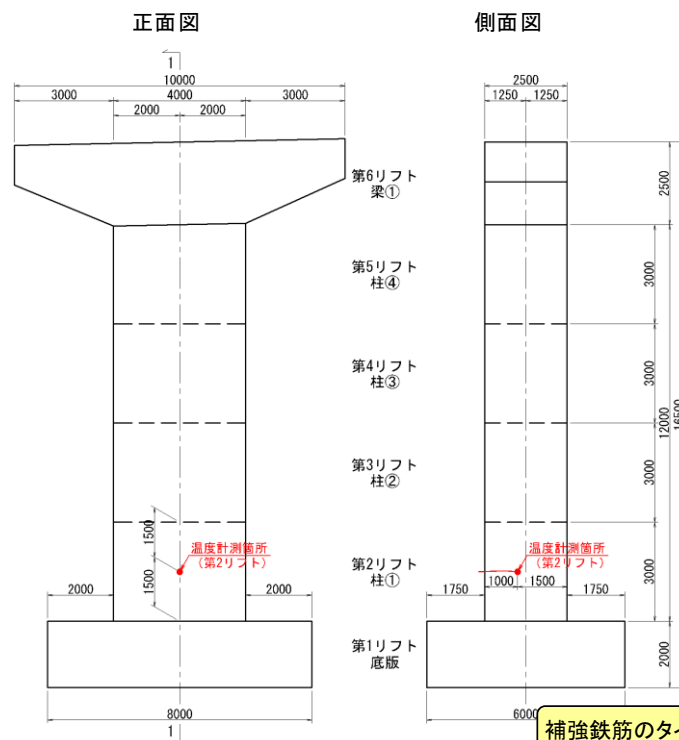
記録シート①

リフト図

○基本情報

発注者(事務所名)	山口土木建築事務所	受注者	〇〇建設(株)
路線・河川・地区等	山口宇部線	工期	H18.4.1 ~ H19.3.31
工事名	道路改良工事	工区	2
施工場所	山口市〇〇	緯度	34度42分22秒
構造物名	〇〇橋	経度	136度55分42秒
構造物詳細	P1橋脚	リフト名	第2リフト

打込みリフト図



○構造

構造物種類	橋脚
構造形式	RC構造
打込み部位	柱

○寸法

厚さ	2.50 m
長さ(幅)	4.00 m

○配筋

主鉄筋	前面	D32 @125
	背面	D32 @125
配力筋	前面	D19 @150
	背面	D19 @150
設計純かぶり	4cm以上	

備考

鉄筋径・ピッチ
を選択または
記入

○ひび割れ抑制対策

補強鉄筋	---
配筋状況(タイプA)	
タイプA段数	
配筋状況(タイプB)	
誘発目地間隔	m
膨張材	kg/m ³
その他の対策	
鉄筋比(対策前)	0.15 %
鉄筋比(実施)	0.15 %

その他対策の具
体名を記入

1段、2段等
を記入

誘発目地を
設置した場
合は、その
間隔を記入

膨張材を使用し
た場合に記入

補強鉄筋のタイプを選択

サンプル

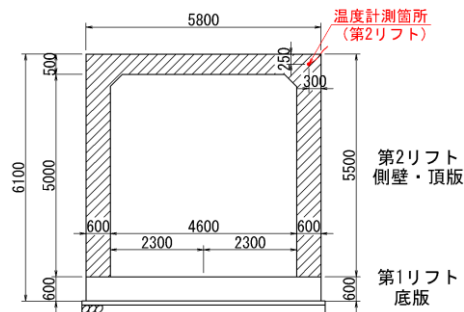
リフト図

○基本情報

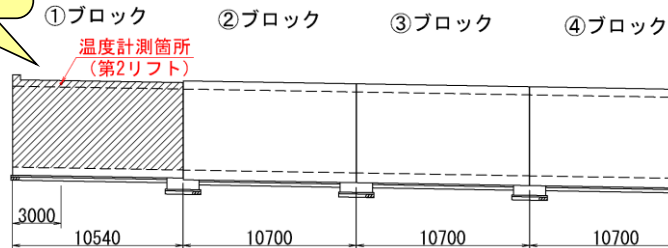
発注者(事務所名)	山口土木建築事務所	受注者	〇〇建設(株)
路線・河川・地区等	山口宇部線	工期	H18.4.1 ~ H19.3.31
工事名	道路改良工事	工区	3
施工場所	山口市〇〇	緯度	34度42分22秒
		経度	136度55分42秒
構造物名	〇〇道路函渠		
構造物詳細	ボックスカルバート	リフト名	第2リフト

打込みリフト図

断面図



側面図



対象ブロックが分かるように

リフト毎に記入

構造物の場所を緯度
経度で記入

○構造

構造物種類	ボックスカルバート
構造形式	RC構造
打込み部位	側壁・頂版

○寸法

厚さ	0.60 m
長さ(幅)	10.54 m

○配筋

主鉄筋	前面	D19 @125
	背面	D19 @125
配力筋	前面	D16 @250
	背面	D16 @250
設計純かぶり	4cm以上	

備考

鉄筋径・ピッチ
を選択または
記入

○ひび割れ抑制対策

補強鉄筋	---
配筋状況(タイプA)	
タイプA段数	
配筋状況(タイプB)	
誘発目地間隔	3.5 m
膨張材	kg/m ³
その他の対策	
鉄筋比(対策前)	0.26 %
鉄筋比(実施)	0.26 %

その他対策の具
体名を記入

補強鉄筋のタイプを選択

誘発目地を
設置した場
合は、その
間隔を記入膨張材を使用した
場合に記入

サンプル

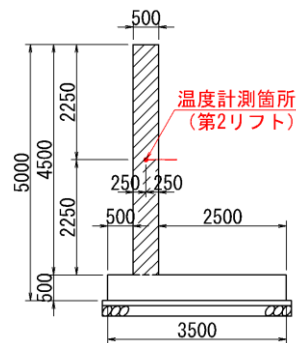
リフト図

○ 基本情報

発注者(事務所名)	山口土木建築事務所	受注者	〇〇建設(株)
路線・河川・地区等	山口宇部線	工期	H18. 4. 1 ~ H19. 3. 31
工事名	道路改良工事	工区	3
施工場所	山口市〇〇	緯度	34度42分22秒
構造物名	〇〇道路擁壁	経度	136度55分42秒
構造物詳細	擁壁	リフト名	第2リフト

打込みリフト図

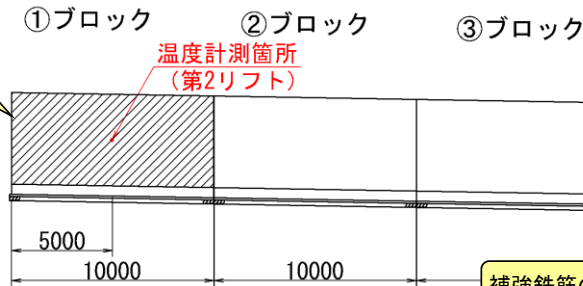
断面図



リフト毎に記入

構造物の場所を緯度
経度で記入

側面図

対象ブロックが分か
るように

補強鉄筋のタイプを選択

○ 構造

構造物種類	擁壁
構造形式	RC構造
打込み部位	側壁

○ 寸法

厚さ	0.50 m
長さ(幅)	10.00 m

○ 配筋

主鉄筋	前面	D19 @250
	背面	D19 @250
配力筋	前面	D13 @250
	背面	D13 @250
設計純かぶり	4cm以上	

備考

鉄筋径・ピッチ
を選択または
記入

○ ひび割れ抑制対策

補強鉄筋	---
配筋状況(タイプA)	
タイプA段数	
配筋状況(タイプB)	
誘発目地間隔	5.0 m
膨張材	kg/m ³
その他の対策	

誘発目地を
設置した場
合は、その
間隔を記入膨張材を使用した
場合に記入

○ 鉄筋比

鉄筋比(対策前)	0.26 %
鉄筋比(実施)	0.26 %

その他対策の具
体名を記入

○基本情報

発注者(事務所名)	山口土木建築事務所	受注者	〇〇建設(株)		
路線・河川・地区等	山口宇部線	工期	H22.1.11	～	H24.9.30
工事名	PC上部工工事			工区	1
施工場所	山口市〇〇	緯度	34度42分22秒	経度	136度55分42秒
構造物名	〇〇橋上部工				
構造物詳細	PRC2径間連続2主版桁	分割施工区間名 (リスト名・ブロック名)	2径間を一週に打込み (リスト割・ブロック割なし)		

側面図

分割施工区間図

リフト毎に記入

構造物の場所を緯度
経度で記入

平面図

断面図

補強鉄筋のタイプを選択

1段、2段等
を記入

誘発目地を
設置した場
合は、その
間隔を記入

膨張材を使用した
場合に記入

その他対策の具
体名を記入

鉄筋径・ピッ
チを選択また
は記入

例) かぶり通常部3.5cm以上ただし、中空床版ボイド下10cm以上、等(床版や上
部工などで、場所によって"かぶり"が違う場合に記入する)

〇構造	
構造物種類	PC上部工
構造形式	PC構造
打込み部位	上部工
〇寸法	
厚さ	1.70 m
長さ(幅)	54.00 m
〇配筋	
主鉄筋	前面 D16 @150 背面 D16 @125
配力筋	前面 D19 @125 背面 D19 @125
設計純かぶり	4cm以上
備考	

〇ひび割れ抑制対策	
補強鉄筋	
配筋状況(タイプA)	
タイプA段数	
配筋状況(タイプB)	
誘発目地間隔	m
膨張材	kg/m ³
その他の対策	
〇鉄筋比	
鉄筋比(対策前)	%
鉄筋比(実施)	%

リフト図（現場打ち PC 上部工の場合、分割施工区間図）の作成時の注意点

- ・ 文字色の意味

赤字：直接入力

緑字：プルダウン（選択するもの）

青字：リンクが貼られているもの（変更しない）

黒字：項目および単位（変更しない）

- ・ 基本情報を発注図書に従い記入する。
- ・ 緯度経度は、構造物の位置情報として境界座標を記入する。
- ・ リフト図には断面図・側面図を添付し、リフト名称およびリフト高さ等の主な構造物寸法を明記する。
- ・ 打込みリフト図には温度計測箇所を明記する。
- ・ 側面図には全ブロックの図を明記し、対象となるブロックが分かるようにする。
- ・ 配筋情報には主鉄筋・配力筋、設計純かぶりを明記し、鉄筋間隔は基本ピッチとする。なお、床版や上部工などで場所によってかぶりが違う場合には備考欄に記入する。
- ・ ひび割れ抑制対策について

補強鉄筋を配置した場合：補強鉄筋のタイプを選択し、配筋状況および鉄筋比（発注時および実施したもの）を明記する。

誘発目地を設けた場合：誘発目地の間隔を記入する。

膨張材を使用した場合：膨張材使用量を記入する。

上記以外の対策を実施した場合：その対策を具体的に記入する。

サンプル

コンクリート打込み管理表

○基本情報

路線・河川・地区等	山口宇部線	工期	H18.4.1	～	H19.3.31
工事名	道路改良工事	工区	1		
構造物名	〇〇橋				
構造物詳細	A1橋台	リフト名	第2リフト		

○コンクリート

材料・配合	呼び強度	27 N/mm ²	スランプ	8 cm	骨材最大寸法	20 mm	
	水セメント比	55 %	単位セメント量	300 kg/m ³			
	セメント種類	高炉B種	セメント会社	〇〇セメント(株)			
	混和剤	AE減水剤	混和材	---			
	生コン工場	〇〇(株) 〇〇工場					
品質管理試験	試料採取時期	打込み開始時	150m ³ 打込み時又は午後	300m ³ 打込み時	試験許容値		
	スランプ	9.0 cm	---	---	8±2.5cm		
	空気量	5.5 %	---	---	4.5±1.5%		
	塩化物イオン量	0.03 kg/m ³	---	---	0.30 kg/m ³ 以下		
	コンクリート温度	24.0 °C	---	---			
	打込み時外気温	22.0 °C	---	---			
	7日強度	19.0 N/mm ²	---	---			
	28日強度	31.0 N/mm ²	---	---	加理剂(名称) 凝結遅延剂ト高		

塗装合板、無塗装合板、鋼製型枠、等を記入

「ポンプ(配管あり)」の場合記入

処理剤(名称)、凝結遅延剤+高圧洗浄、チッピング、等を記入

○運搬・打込み・締固め

打込み日	2006年5月25日		天気	りのち晴	下側リフト打込み日	2006年5月10日
型枠種類	塗装合板		下側リフト打継目処理	処理剤（〇〇）		
運搬	現場までの運搬時間	20 分	現場待機時間	0 分	荷卸し時間	20 分/台
	現場内運搬方法	ポンプ（配管なし）	ポンプ圧送距離	m	ポンプ車台数	1 台
打込み	開始時刻	8:10	終了時刻	11:00		
	リフト高	3.0 m	打込み量	70.0 m³	打込み速度	1.0 m/h
締固め	パイプレタ台数	3 台	パイプレタ人数	4 人	パイプレタ予備	1 台
	ホース筒先	1 人				

○コンクリート温度履歴

初期温度	24.0 °C	最高温度	48.0 °C	温度上昇量	24.0 °C
最高温度に到達した時間	30 時間後				

○養生

脱型日	2006年6月5日	残置期間	11 日
養生方法	型枠面	型枠+ブルーシート	
	打込み面	養生マット+ブルーシート+散水	
養生(湿潤状態)期間	7 日		

サンプル

記録シート③

コンクリート打込み管理表（温度計測その1）

○基本情報

路線・河川・地区等	山口宇部線	工期	H18.4.1	～	H19.3.31
工事名	道路改良工事	工区	1		
構造物名	〇〇橋				
構造物詳細	A1橋台	リフト名	第2リフト		

日時	天気	計測時刻	コンクリート温度	外気温	備 考
2006/5/25 (木)	晴	15:30	38.0 °C	23.0 °C	養生開始時
2006/5/26 (金)	朝 晴 昼 晴 夕 晴	8:00 13:00 17:00	47.0 °C 47.5 °C 48.0 °C	22.0 °C 26.0 °C 23.0 °C	<p>打込み日の計測は、原則として「仕上げ時」または「養生開始時」に行い、備考欄に計測時期を記入する。</p> <p>なお、これらのタイミングで計測できなかった場合でも、計測時期が分かるように備考欄に記入する。(例:養生開始後、3時間経過後)</p>
2006/5/27 (土)	朝 晴 昼 晴 夕 晴	8:00 13:00 17:00	45.0 °C 43.0 °C 42.0 °C	22.0 °C 26.0 °C 23.0 °C	
2006/5/28 (日)	朝 晴 昼 晴 夕 晴	9:30 	38.0 °C 	22.0 °C 	
2006/5/29 (月)	朝 晴 昼 晴 夕 晴	8:00 13:00 17:00	30.0 °C 29.0 °C 28.0 °C	22.0 °C 26.0 °C 23.0 °C	
2006/5/30 (火)	朝 晴 昼 晴 夕 晴	8:00 13:00 17:00	27.0 °C 26.5 °C 26.0 °C	22.0 °C 26.0 °C 23.0 °C	
2006/5/31 (水)	朝 晴 昼 晴 夕 晴	8:00 13:00 17:00	25.5 °C 25.0 °C 24.5 °C	22.0 °C 26.0 °C 23.0 °C	
2006/6/1 (木)	朝 晴 昼 晴 夕 晴	8:00 13:00 17:00	24.0 °C 23.9 °C 23.8 °C	23.0 °C 27.0 °C 24.0 °C	
2006/6/2 (金)	朝 晴 昼 晴 夕 晴	8:00 13:00 17:00	23.7 °C 23.6 °C 23.5 °C	23.0 °C 27.0 °C 24.0 °C	
2006/6/3 (土)	朝 昼 夕	 	°C °C °C	°C °C °C	
2006/6/4 (日)	朝 昼 夕	 	°C °C °C	°C °C °C	
2006/6/5 (月)	朝 晴 昼 晴 夕 晴	8:00 13:00 17:00	22.8 °C 22.7 °C 22.6 °C	23.0 °C 27.0 °C 24.0 °C	<p>打込みから10日～14日後を目途に、受注者の判断で計測回数を1回/日に減らすことができる。</p> <p>(判断基準の例としては、コンクリート内部温度が安定したとき、等がある)</p>
2006/6/6 (火)	朝 晴 昼 晴 夕 晴	8:00 13:00 17:00	22.5 °C 22.4 °C 22.3 °C	23.0 °C 27.0 °C 24.0 °C	
2006/6/7 (水)	朝 晴 昼 晴 夕 晴	8:00 13:00 17:00	22.2 °C 22.1 °C 22.0 °C	23.0 °C 27.0 °C 24.0 °C	
2006/6/8 (木)	朝 晴 昼 晴 夕 晴	8:00 13:00 17:00	21.9 °C 21.8 °C 21.7 °C	23.0 °C 28.0 °C 25.0 °C	
2006/6/9 (金)	朝 晴 昼 晴 夕 晴	8:00 13:00 17:00	21.6 °C 21.5 °C 21.4 °C	23.0 °C 28.0 °C 25.0 °C	
2006/6/10 (土)	朝 晴 昼 晴 夕 晴	8:00 13:00 17:00	21.3 °C 21.4 °C 21.5 °C	23.0 °C 28.0 °C 25.0 °C	
2006/6/11 (日)	朝 昼 夕	 	°C °C °C	°C °C °C	

サンプル

記録シート④

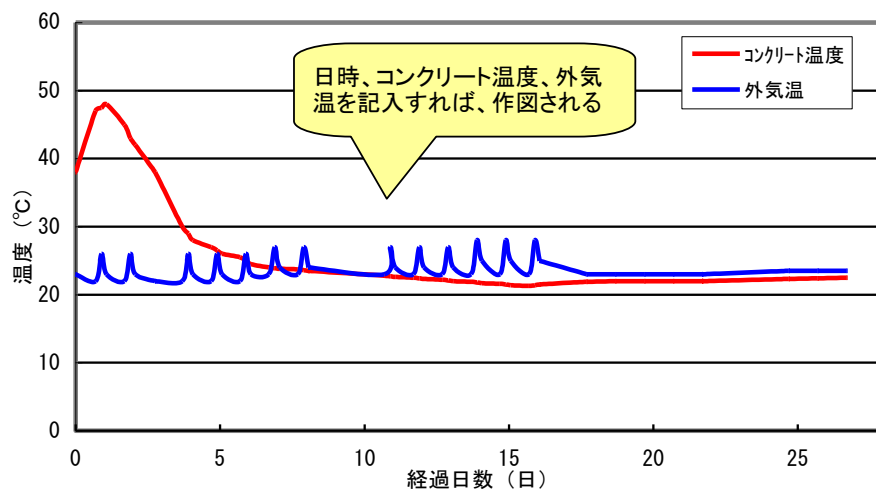
コンクリート打込み管理表（温度計測その2）

○基本情報

路線・河川・地区等	山口宇部線	工期	H18.4.1	～	H19.3.31
工事名	道路改良工事	工区	1		
構造物名	〇〇橋				
構造物詳細	A1橋台	リフト名	第2リフト		

日時		天気	計測時刻	コンクリート温度	外気温	備考
2006/6/12 (月)	朝	晴	8:00	21.9 °C	23.0 °C	
	昼			°C	°C	
	夕			°C	°C	
2006/6/13 (火)	朝	晴	8:00	22.0 °C	23.0 °C	
	昼			°C	°C	
	夕			°C	°C	
2006/6/14 (水)	朝	晴	8:00	22.0 °C	23.0 °C	
	昼			°C	°C	
	夕			°C	°C	
2006/6/15 (木)	朝	晴	8:00	22.0 °C	23.0 °C	
	昼			°C	°C	
	夕			°C	°C	
2006/6/16 (金)	朝	晴	8:00	22.0 °C	23.0 °C	
	昼			°C	°C	
	夕			°C	°C	
2006/6/17 (土)	朝			°C	°C	
	昼			°C	°C	
	夕			°C	°C	
2006/6/18 (日)	朝			°C	°C	
	昼			°C	°C	
	夕			°C	°C	
2006/6/19 (月)	朝	晴	8:00	22.3 °C	23.5 °C	
	昼			°C	°C	
	夕			°C	°C	
2006/6/20 (火)	朝	晴	8:00	22.4 °C	23.5 °C	
	昼			°C	°C	
	夕			°C	°C	
2006/6/21 (水)	朝	晴	8:00	22.5 °C	23.5 °C	
	昼			°C	°C	
	夕			°C	°C	

コンクリート温度・外気温計測結果



サンプル

コンクリート打込み管理表

○基本情報

路線・河川・地区等	山口宇部線	工期	H22.1.11	～	H24.9.30
工事名	PC上部工工事	工区	1		
構造物名	〇〇橋上部工				
構造物詳細	PRC2径間連続2主版桁	分割施工区間名 (リフト名・ブロック名)	2径間を一遍に打込み (リフト割・ブロック割なし)		

○コンクリート

材 料 ・ 配 合	呼び強度	36 N/mm ²	スランプまたは スランプリフロー	8 cm	骨材最大寸法	20 mm	
	水セメント比	44.8 %	単位セメント量	362 kg/m ³			
	セメント種類	普通	セメント会社	〇〇セメント株式会社			
	混和剤1	AE減水剤	混和剤2	---	混和材	---	
	生コン工場	〇〇生コン株式会社					
品 質 管 理 試 験	試料採取時期	打込み開始時	150m ³ 打込み時又は午後	300m ³ 打込み時	試験許容値		
	スランプ	8.0 cm	9.5 cm	9.0 cm	8.0±2.5		
	空気量	4.0 %	4.4 %	4.0 %	4.5±1.5		
	塩化物イオン量	0.045 kg/m ³		kg/m ³	kg/m ³	0.30 kg/m ³ 以下	
	単位水量	162 kg/m ³	162 kg/m ³	162 kg/m ³			
	コンクリート温度	28 °C	29 °C	29 °C			
	打込み時外気温	26 °C	27 °C	29 °C			
	7日強度	33.5 N/mm ²	31.9 N/mm ²	32.5 N/mm ²			
	28日強度	46.8 N/mm ²	42.0 N/mm ²	44.3 N/mm ²			

塗装合板、無塗装合板、鋼製型枠、等を記入

「ポンプ(配管あり)」の場合記入

処理剤(名称)、凝結遅延剤+高圧洗浄、チッピング、等を記入

○運搬・打込み・締固

打込み日	2012年6月6日		天気	晴れ			
型枠種類	塗装合板		下側リフト打継目処	処理剤（〇〇）			
運搬	現場までの運搬時間	25 分	現場待機時間	15 分	荷卸し時間	7 分/台	
	現場内運搬方法	ポンプ（配管なし）	ポンプ圧送距離	m	ポンプ車台数	2 台	
打込み	開始時刻	8:00	終了時刻	13:05			
	構造物の打設域の高さ （リフト高）	1.7 m	打込み量	327 m ³	打込み速度	m/h	
締固め	パイプレタ台数	12 台	パイプレタ人数	20 人	パイプレタ予備	6 台	
	ホース筒先	人					

○コンクリート温度履歴

初期温度	28.0 °C	最高温度	73.9 °C	温度上昇量	45.9 °C
最高温度に到達した時間	29 時間後				

○養生

脱型日	2012年6月22日	残置期間	16 日
養生方法	型枠面	アルミ蒸着シート (15日間)	(日間)
	打込み面	高機能養生マット+散水+アルミ蒸着シート+防炎シート (15日間)	(日間)
養生(湿潤状態)期間	15 日		

コンクリート打込み管理表（温度計測その1）

○基本情報

サンプル

路線・河川・地区等	山口宇部線	工期	H22. 1. 11	～	H24. 9. 30
工事名	PC上部工工事	工区	1		
構造物名	〇〇橋上部工				
構造物詳細	PRC2径間連続2主版桁	分割施工区間名 (リフト名、ブロック名)	2径間を一遍に打込み (リフト割・ブロック割なし)		

日時	天気	計測時刻	コンクリート温度	外気温	備考
2012/6/6 (水)	晴	16:40	50.6℃	28.2℃	養生開始時 打込み日の計測は、原則として「仕上げ時」または「養生開始時」に行い、備考欄に計測時期を記入する。 なお、これらのタイミングで計測できなかった場合でも、計測時期が分かるように備考欄に記入する。 (例:養生開始後、3時間経過後)
		20:40	60.6	24.5	
		23:40	65.2	24.8	
2012/6/7 (木)	朝 晴	7:40	71.4℃	25.0℃	
	昼	12:40	73.2℃	22.3℃	
	夕	17:40	73.9℃	23.2℃	
2012/6/8 (金)	朝 晴	7:39	72.4℃	21.0℃	
	昼	12:39	71.2℃	20.8℃	
	夕	17:39	69.7℃	22.4℃	
2012/6/9 (土)	朝 曇	7:39	65.2℃	22.1℃	
	昼	12:32	63.7℃	23.7℃	
	夕	17:32	62.0℃	22.8℃	
2012/6/10 (日)	朝 雨	7:32	57.7℃	22.8℃	打込みから10日～14日後を目途に、受注者の判断で計測回数を1回/日に減らすことができる。 (判断基準の例としては、コンクリート内部温度が安定したとき、等がある)
	昼	12:32	56.2℃	25.1℃	
	夕	17:32	54.8℃	23.9℃	
2012/6/11 (月)	朝 曇	7:32	51.0℃	18.2℃	
	昼	12:32	49.8℃	20.5℃	
	夕	17:32	48.5℃	20.8℃	
2012/6/12 (火)	朝 曇	7:31	46.0℃	20.8℃	
	昼	12:41	44.0℃	25.5℃	
	夕	17:40	42.6℃	23.8℃	
2012/6/13 (水)	朝 曇	7:40	40.0℃	23.5℃	
	昼	12:40	39.3℃	28.5℃	
	夕	17:40	38.4℃	24.1℃	
2012/6/14 (木)	朝 晴	7:40	36.3℃	25.1℃	
	昼	12:40	35.8℃	26.2℃	
	夕	17:40	35.1℃	24.1℃	
2012/6/15 (金)	朝 晴	7:39	33.8℃	25.7℃	
	昼	12:39	33.6℃	29.7℃	
	夕	17:39	33.4℃	26.6℃	
2012/6/16 (土)	朝 雨	7:39	32.6℃	25.4℃	
	昼	12:41	31.5℃	30.9℃	
	夕	17:41	31.2℃	25.4℃	
2012/6/17 (日)	朝 雨	7:41	30.5℃	24.5℃	
	昼	12:41	30.3℃	23.2℃	
	夕	17:41	29.9℃	20.3℃	
2012/6/18 (月)	朝 雨	7:40	29.4℃	℃	
	昼	12:40	29.1℃	29.8℃	
	夕	17:40	28.8℃	℃	
2012/6/19 (火)	朝 雨	7:40	28.3℃	℃	
	昼	12:40	28.2℃	24.6℃	
	夕	17:40	28.1℃	℃	
2012/6/20	朝 曇	7:40	27.9℃	℃	
	昼	12:40	27.9℃	27.9℃	
	夕	17:39	27.8℃	℃	
2012/6/21 (木)	朝 雨	7:39	27.6℃	℃	
	昼	12:39	27.5℃	27.9℃	
	夕	17:39	27.4℃	℃	
2012/6/22 (金)	朝 曇	7:39	27.2℃	24.9℃	
	昼		℃	℃	
	夕		℃	℃	
2012/6/23 (土)	朝 晴	7:40	27.0℃	25.2℃	
	昼		℃	℃	
	夕		℃	℃	

コンクリート打込み管理表（温度計測その2）

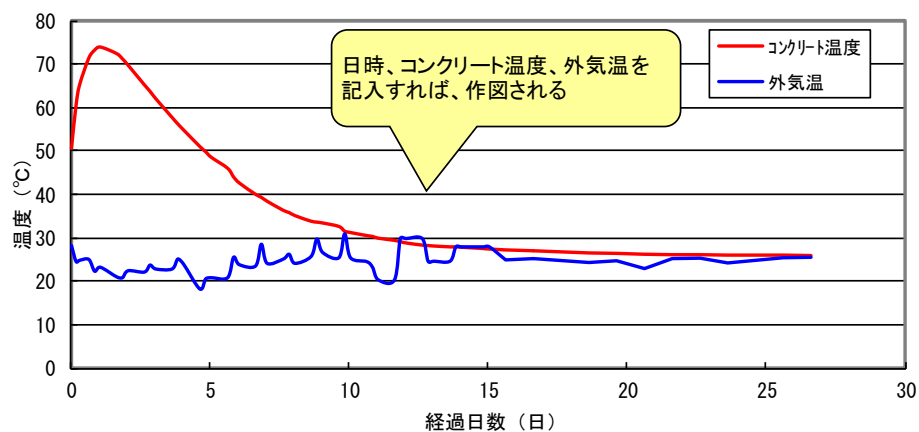
○基本情報

サンプル

路線・河川・地区等	山口宇部線	工期	H22.1.11	～	H24.9.30
工事名	PC上部工工事			工区	1
構造物名	〇〇橋上部工				
構造物詳細	PRC2径間連続2主版桁	分割施工区間名 (リフト名・ブロック名)	2径間を一連に打込みロリフト割・ブロック割なし		

日時	天気	計測時刻	コンクリート温度	外気温	備考
2012/6/24 (日)	朝		℃	℃	
	昼		℃	℃	
	夕		℃	℃	
2012/6/25 (月)	朝	曇 7:39	26.5℃	24.3℃	
	昼		℃	℃	
	夕		℃	℃	
2012/6/26 (火)	朝	晴 7:28	26.4℃	24.7℃	
	昼		℃	℃	
	夕		℃	℃	
2012/6/27 (水)	朝	曇 7:38	26.2℃	22.9℃	
	昼		℃	℃	
	夕		℃	℃	
2012/6/28 (木)	朝	晴 7:35	26.1℃	25.2℃	
	昼		℃	℃	
	夕		℃	℃	
2012/6/29 (金)	朝	晴 7:42	26.1℃	25.3℃	
	昼		℃	℃	
	夕		℃	℃	
2012/6/30 (土)	朝	晴 7:30	26.0℃	24.2℃	
	昼		℃	℃	
	夕		℃	℃	
2012/7/1 (日)	朝		℃	℃	
	昼		℃	℃	
	夕		℃	℃	
2012/7/2 (月)	朝	晴 7:32	26.0℃	25.4℃	
	昼		℃	℃	
	夕		℃	℃	
2012/7/3 (火)	朝	晴 7:25	25.9℃	25.5℃	
	昼		℃	℃	
	夕		℃	℃	

コンクリート温度・外気温計測結果



コンクリート打込み管理表の記入時の注意点

- ・現場打ち PC 上部工については、専用のコンクリート打込み管理表に記入する。
- ・文字色の意味
 - 赤字：直接入力
 - 緑字：プルダウン（選択するもの）
 - 青字：リンクが貼られているもの（変更しない）
 - 黒字：項目および単位（変更しない）
- ・基本情報には、リフト図で記入した内容が表示される。
- ・温度計測値を行う場合、打込み日の記録は、原則として「仕上げ時」または「養生開始時」に計測した温度とし、備考欄に計測時期を記入する。なお、これらのタイミングで計測できなかった場合でも、計測時期が分かるように備考欄に記入する（例：養生開始後、3 時間経過後）。
- ・打込みから 10 日～14 日を目途に、受注者の判断で計測回数を 1 回/日に減らすことができる。判断基準の例としては、コンクリート内部温度が安定したとき、等がある。
- ・冬季にヒーター等により給熱養生を行う場合、外気温として、ブルーシート等で囲まれ給熱されている空間の気温を計測する。

サンプル

記録シート⑤

ひび割れ調査票（その1）

○基本情報

路線・河川・地区等	山口宇部線	工期	H18.4.1	～	H19.3.31
工事名	道路改良工事				工区 1
構造物名	〇〇橋				
構造物詳細	A1橋台	リフト名	第2リフト		

○ひび割れの有無

ひび割れの有無	有
---------	---

ひび割れの有無を選択

○ひび割れ概要

概要図

正面図

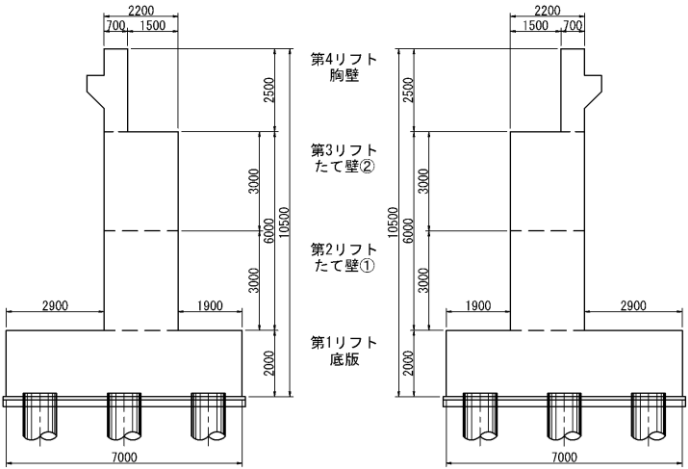
背面図

ひび割れ番号を明記

ひび割れ箇所が分かるように

左側面図

右側面図



サンプル

記録シート⑥

ひび割れ調査票（その2）

○基本情報

路線・河川・地区等	山口宇部線	工期	H18.4.1	～	H19.3.31
工事名	道路改良工事	工区	1		
構造物名	〇〇橋				
構造物詳細	A1橋台	リフト名	第2リフト		

○ひび割れ状況

ひび割れ	No.	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	No. 9	No. 10	No. 11
	位置	正面	背面	背面	背面	正面	背面					
	形状	貫通	貫通	沈み	沈み	貫通	貫通					
	方向	鉛直	鉛直	水平	水平	鉛直	鉛直					
調査日	2006/6/5	0.15mm	0.15mm	0.20mm	0.15mm							
	2006/6/12	0.15mm	0.15mm	0.20mm	0.15mm							
	2006/6/19	0.15mm	0.20mm			0.10mm	0.10mm					
	2006/6/26	0.20mm	0.20mm			0.10mm	0.10mm					
	2006/7/3	0.25mm	0.20mm			0.10mm	0.10mm					
	2006/7/10					0.15mm	0.10mm					
	2006/7/17					0.15mm	0.10mm					
	備考	2006/6/5 初期観察実施、No.1水漏れあり										
補修	補修の有無	有	有	有	なし	有	なし					
	補修日	2006/7/25	2006/7/25	2006/7/25		2006/7/25						
	補修方法	注入	注入	注入		注入						
	備考	No.1、2、3、5：軟質系 ^{エポ} 樹脂注入										

ひび割れの位置、形状、方向を選択

商品名でも良い

ひび割れ調査票の作成時の注意点

- ・ 現場打ち PC 上部工については、専用のひび割れ調査票に記入する。
- ・ 文字色の意味
 - 赤字：直接入力
 - 緑字：プルダウン（選択するもの）
 - 青字：リンクが貼られているもの（変更しない）
 - 黒字：項目および単位（変更しない）
- ・ 基本情報には、リフト図で記入した内容が表示される。
- ・ 補修対象となる有害なひび割れ発生の有無をプルダウンより選択する。
- ・ ひび割れ概要図は、ひび割れと計測箇所が分かるようする。ひび割れ番号を明記する。
- ・ ひび割れの位置、形状および方位は、該当するものから選択する。
- ・ ひび割れの補修を行った場合は、その補修方法を記入する。補修に用いた材料は、その種類もしくは商品名を記入する。